



平成25年度学校だより

善誘館 NO. 9

H. 26. 1. 20

甲府市立善誘館小学校 校長室



校訓 「善行・勤勉・体育」

学校教育目標

- 思いやる心をもつ子
- よく考え工夫する子
- 元気でたくましい子

明けましておめでとうございます

春に備えて…

新年明けましておめでとうございます。本年もろしくお願いいたします。



9日から3学期が始まりました。今年は午（うま）年。午年は飛躍の年とも言われています。子どもたちにとっても、飛躍の年になるよう、3学期は新しい学年へ備えて、しっかりまとめをしていく学期にしてほしいと思います。

そこで、3学期の始業式の校長の話では、午年になぞらえて、子どもたちにがんばってほしいことを次ように話しました。

「う」…上の学年をめざして、

「ま」…まとめをしっかりしよう

特に6年生にとっては残り少ない小学校生活になってきました。全校児童が、来るべき春に備えて、新たな目標を立て上をめざしてがんばってほしいと思います。そして、春にはそれぞれの子どもたちが飛躍できるようにがんばってほしいと思います。

百人一首をとおして

言葉への感性を育てる

本校では、木曜日の朝の時間（8：20～8：30）に各学年ごと百人一首の音読やカルタ取りを行っています。



中学や高校では、古典の入門として生徒に『百人一首』を紹介し、これを暗記させることがよくあります。それは、それぞれが和歌（5・7・5・7・7の31文字）なので暗唱しやすく、短い和歌の中に掛詞などさまざまな修辞技巧が用いられ、文法の例も含まれることから、古典の入門として適した教材だからです。

しかし、本校での取り組みは無理矢理暗記させるのではなく、百人一首を音読の教材として取り扱ってきました。そして、その延長として、カルタ取りのゲームを行い、楽しく和歌や古典の世界に触れさせるようにしてきました。それでも、子どもたちはゲームに夢中になる中で、意味がよく

わからないものや言葉遣いが難しいものがあったとしても、何首も覚えてしまいます。

私の子どもの頃（昭和30年代）には、お正月の遊びで家族や親戚の人たちと一緒に百人一首で遊んだものです。読み札だけで遊ぶ「ぼうずめぐり」という遊びもしました。幼い頃に慣れ親しんだものは忘れないものです。本校の子どもたちの中にもたくさんの歌を覚えている子どももいます。

学校では今月の28日(火)に「百人一首大会」を行う予定です。全校児童がトーナメント戦で行いますが、どんな盛り上がりを見せるか楽しみです。

自分の身を守れ

予告なしの避難訓練を実施

1月17日（金）＜19年前阪神淡路大震災が発生した日＞の中休み、に子どもたちに「予告なしの地震を想定した避難訓練」を行いました。

緊急地震速報（CDを气象台から借りてきました）を流す中で、避難行動を取



るように校内放送をしましたが、突然の放送にもかかわらず、比較的落ち着いて行動することができました。校庭や中庭で遊んでいた子どもたちは、庭の真ん中に集まって低い姿勢で座ることができました。

大きな揺れが収まるまでの1～2分間、自分の身を守ることが大切です。そのためには、「**お、い、た**

お…落ちてこない い…移動してこない た…倒れてこない 場所に頭を守る姿勢で素早く身を隠すことができるかがカギになります。緊急地震速報が流れて、地震が来るまでの数秒の間でも行動を開始できるように、これからも予告なしの避難訓練を行っていきたく

と思います。

ご家庭でも、緊急地震速報が流れたときの心構えや地震が来たときの身の守り方などを話し合っておいてください。

陰褒め(かげほめ)のすすめ

「陰褒め(かげほめ)」とは直接本人を褒めずに、それを間接的に人づてに伝えることで褒めることです。

直接本人を褒めてしまえば、それは二人だけの関係で終わりますが、第三者に「あの子はすごく上手だったよ」と言うと、その情報は巡り巡っていつか本人に「あの人があなたのことを褒めていたよ」という第三者との関係を取り込みながら伝わります。

第三者を経由して伝わることで、それを周りの人も知っていると思うと、本人の喜びも倍になります。思ってもみない人から褒められることは本当にうれしいものです。

「あの人はがんばっている」と同じ事を周りのたくさんの人に言うと、巡り巡って本人に伝わり、たくさんの人から「あなたががんばっているんだって?」と褒められます。これが褒めて人を伸ばす、陰褒めです。

